

町長室から

新型コロナウイルス感染症が止まりません。ついにWHO（世界保健機関）はパンデミック（世界的な大流行）とみなされると宣言しました。パンデミック宣言は2009年の新型インフルエンザが世界で大流行して以来ということとです。

浦幌町では当初北海道知事の要請により、2月27日より小中学校を1週間程度臨時休業にし、幼稚園、保育園は開くものの学童保育所及び子ども発達支援センターくれよん広場については3月4日迄休所の措置をとっていました。しかしその後、政府から子ども達の集団感染を未然に阻止するための手段として小学校、中学校、高校及び特別支援学校を3月2日から春休みまで全て臨時休業とすることを全国に要請したことから、浦幌町においても春休みになる前日まで小中学校の臨時休業の措置を取りました。

ただし、企業などに対して子どもを持つ従業員が休暇を取得できるように配慮するとともに、保護者が労働などにより昼間家庭に居な

い子どものうち、特に小学校低学年の子どもなどについては、留守番が困難な場合や、保護者が休暇を取得することが困難な場合も想定されることから、学童保育所や放課後デイサービス事業は感染の予防に留意したうえで原則として開所するように通知が出されました。

これを受けて、浦幌幼稚園、さらには保育園及び浦幌ひまわり保育園は引き続き開園することとし、学童保育所及び子ども発達支援センターくれよん広場につきましても3月5日から開所することにしました。なお、学童保育所は小学校が休業しますことから開所時間を8時30分から17時30分まで延長して受け入れることとしたため、浦幌幼稚園での受け入れが出来なくなり、保育の安全面や感染リスクを避けるため臨時的に中央公民館での受け入れとしました。これらの措置は子ども達にも相当なストレスがかかるのではないかと危惧していますが、各御家庭には子ども達の体調の管理と心のケアをお願いしたいと思います。

コロナウイルスの影響で大きな行事の自粛などが政府から要請される中で、十勝から2校の出場が決定していた春の甲子園野球大会も中止となってしまいましたし、パンデミック宣言で世界から選手が集まる東京オリンピックの開催自体もどうなるか予断が許されないことになっています。

予防・治療薬もない今の段階では、新型コロナウイルスを封じ込めるために咳エチケットや手洗いの励行など、誰でもできる感染予防対策をしっかりと行っていくしかありません。

世界経済への影響は計り知れないものがありますが、どこまで波及するのか今はまだ見通すことが出来ない状況です。政府の対策も状況に応じて日々変わっていきませんが、終息宣言が出るまではかなり息の長い時間を要するのではないかと思いますので、浦幌町内において影響を受ける方達や事業者の皆さんもおられます。

浦幌町では3月2日に対策本部を立ち上げましたが、町内で感染者が発生したための立ち上げでは

なく、この感染症に対しての予防策と対応策を行うことが目的であり、影響を最小限にとどめるため、状況をしっかりと見極めながら関係者の皆さんと相談させていただき、可能な限り早め早めの必要な対策を取りたいと考えています。

令和2年度浦幌町予算は8特別会計合わせて総額101億3357万3千円で、第1回定例議会にて可決されました。今年度は認定こども園建設事業が大型事業となります。来年は幼稚園、保育園の子ども達が元気に新しい施設に通う姿を楽しみにしていたきたいと思います。

また、久門教育長が退任して、後任に元浦幌小学校校長の水野豊昭氏を教育長とする議会の同意をいただきました。これまで「教育の日」の制定や「小中一貫コミュニティースクール」の推進など教育行政に努力をしていただいた久門氏には心から感謝とお礼を申し上げます。

浦幌町長 水澤一廣